

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	おわさくまの 尾鷲熊野	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	三重県	対象市町村	おわさし 尾鷲市ほか4市町
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は三重県の最南端部に位置し、北は大台町と大紀町、西は奈良県下北山村・上北山村、南は和歌山県新宮市に接し、東は熊野灘に面している。民有林面積は74千ha、うち人工林は53千ha（人工林率71%）となっている。</p> <p>本地区は尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町の2市3町により構成され、尾鷲地域は木材産業集積地である松阪市に近く、一方、熊野地域は和歌山県新宮市や奈良県吉野郡等の林地に接しており、古くから林業が盛んな地域である。森林資源の状況は、民有林人工林のうちⅩ齢級以上の林分が約68%を占めており、主伐後の再造林や下刈り等の保育が必要である。</p> <p>一方で、近年では山村地域の過疎化、林業就業者の高齢化、木材価格の低迷、経営コストの増大等から林業経営を取り巻く環境は悪化しており、適正な管理がなされない森林が急速に増加している。</p> <p>このため、森林を環境森林と生産森林に面的に区分設定し、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、木材生産、水源涵養、山地災害防止等の森林の持つ公益的機能を十分に発揮させることが重要である。また、効率的な森林施業の実施のために路網整備が必要である。</p> <p>本事業では、公益的機能の維持増進のための除・間伐等の森林施業や人工林が伐期齢をむかえる中、森林資源の循環のための人工造林や獣害防護柵の整備、それらに必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,230ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：3,760m 林業専用道</p> <p>総事業費：1,105,670千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 8.45 (総便益 (B) = 18,015,189千円、総事業費 (C) = 2,131,897千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の公益的な機能を将来的に保持し、十分に発揮するために、適切な森林管理が不可欠である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林施業を行うことで、木材生産、水源涵養、山地災害防止等の多様な機能の発揮が期待でき、有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 三重県

地域(地区)名: ^{おわせくまの}尾鷲熊野

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,015,946	
	流域貯水便益	1,857,240	
	水質浄化便益	4,155,249	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,390,162	
木材生産等便益	炭素固定便益	709,229	
	木材利用増進便益	1,230	
	木材生産確保・増進便益	1,586,823	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	299,310	
総 便 益 (B)		18,015,189	
総 費 用 (C)		2,131,897	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,015,189}{2,131,897} = 8.45$		

三重県 尾鷲熊野森林計画区



凡例	
計画区域界、事業区域	
市町村界	